

総会后通信

2012年11月

吉永 公祐

各地に降雪の便りを聞く頃となりました。その後皆様にはお変わりなく健勝にお過ごしのことと推察申し上げます。久しぶりにお会いする皆様のお元気な様子を拝見し、これがひじきの御菜と唐芋混じりの弁当をつつきあった熊中健児の今なのかと逞しさを覚えたことでした。授業が終わると一目散に校庭に飛び出て、ラムネ玉野球に我を忘れ、「ひにん野球」に興じる楽しいひと時を過ごした青春のこまごま、何はなくても私達にとっては忘れることの出来ない記録でした。東京・大阪を始め県外の各地からたくさんの友にご参加いただき、懐かしさ、嬉しさに時間のたつのを忘れ語りあったものでした。今年の総会は卒業以来六〇年の記念の会でしたし、四七年の第一回の会から四一年を数える感慨深い会でもありました。今は亡き乙丸君の提案を容れて「四江会」を採用して以来江原会のなかにあって、他学年以上に後輩たちのために貢献して来たことでした。それもこれも上妻・高千穂・黄会長を中心に皆様の結束と支えがあったからにほかなりません。お互いに傘寿の歳を無事に迎えましたけれど、多くの友が逝去され、参加を願いながらもいろいろな身体の不調のため参加を断念された方も多く寂しさを覚えたことでした。「ひと言」集の皆様の悔しさの言葉に旧友たちへの思いを読み取ったことでした。次の会には参加していただけますようにと祈ったことでした。便利な時代になったもので、参加の皆様の集合写真がすぐ用意され、皆様と同席した記録が残されたことを嬉しく思いました。佳き日の思い出として大事に保存したいと思いました。小生も皆様のスナップを撮って見ましたので同封致します。当日は初めてご夫妻で見え、水泳大会の潜水の思い出を語られた坂野様、東京四江会の藤田様・記録係の甲斐様・関西四江会の阿部・宇野・林田様など多くの皆様のご参加を頂き、ともに「西に金峰」を歌う事が出来、明日への元気をもらうことが出来ました。いつもながら会の成功を支えて頂いた係の皆様がたに心よりお礼を申し上げます。向寒の砌皆様のご健勝をお祈り致します。（吉永公祐…2012・11・吉日）